

昭和大学医学部救急医学准教授
昭和大学病院救命救急センター
三宅康史
Yasufumi Miyake

外傷初療における救急画像

—JATEC™における Preventable Trauma Death を回避するために必要な画像診断—

Point 1 外傷初療の概要と流れを理解する → P16

Point 2 外傷初療に必須の画像診断は、胸部・骨盤のポータブルX線写真、FAST（腹部エコー）である → P18

Point 3 Primary Survey (PS) における画像診断では、大量血胸・腹腔内出血・不安定型骨盤骨折による出血性ショックおよび多発肋骨骨折を鑑別する → P18

Point 4 重症頭部外傷での頭部CTは、バイタルサインの安定後 Secondary Survey (SS) の最初に行う → P19

1. 概要と流れ

JATEC™とは？

日本外傷学会外傷研修コース開発委員会（横田順一郎委員長）と日本救急医学会 JATEC™ コース企画運営特別委員会により共同開発された JATEC™ (Japan Advanced Trauma Evaluation & Care) コースは、2003年以來、月平均2回のペースで東京および各地方開催されている。まずテキスト（13,650円）を購入し、付録のDVDを使ってプレラーニングの後、週末2日間のコースで32名の受講生が4人1組のグループに分かれて、受講生より数の多いインストラクターの“指導”の下、外傷初期診療の流れをシナリオベースでみっちり体でおぼえる。2日目の最後にポストテストとOSCEを受け、受講証を手に入れて帰途につくことになる。受講費用は6万円である。日本外傷研究診療機構(JTRC)のHPから、購入したテキストのDVDに付いてくるシリアルナンバーを打ち込んで受講のエントリーができる。最近では約7倍程度の倍率になっている。

JATEC™の具体的な流れ 図1



※1 MIST
M: Mechanism 外傷機転
I: Injury 主たる外傷
S: Signs バイタルサイン
T: Treatment 応急処置

※2 ABCD
A: 気道 B: 呼吸
C: 循環 D: 意識

※3 AMPLE
A: Allergy アレルギー
M: Medication 内服治療薬
P: Past history/Pregnancy 既往歴と女性なら妊娠の有無
L: Last meal 最終摂食時間
E: Event 受傷機転

※4 FIXES
F: Finger&tube すべての穴に指とチューブ
I: IV, im 静注・筋注
X: X-ray X線撮影
E: ECG 12誘導心電図
S: Splint 副子固定

check! ①
多発肋骨骨折と大量出血の有無をみる

check! ②
重症頭部外傷なら先に頭部CTを撮影する

check! ③
FAST再検とPSの胸部・骨盤X線を詳細に読影する

check! ④
必要な画像検査をここで追加指示する

2. 画像検査の主なポイント

- ①患者への負荷と制限のある時間を考慮し、最小限の画像検査で、致命傷となりうる外傷を見抜く
- ②危機的状況を乗り切った後で初めて、詳細な画像の読影と必要な画像検査の追加を指示する
- ③呼吸・循環を安定させるための画像検査が、重症頭部外傷の検索のための頭部CTに優先するなど